

休館日にご注意ください

蔵書点検による休館期間 9月26日（月）から30日（金）まで

本館、帷子・桜ヶ丘分館、移動図書館とも休館します。

注意

※休館中は、図書館ホームページからの予約受付を停止します。

（ホームページの閲覧および、蔵書検索は可能です。ただし点検結果により、蔵書の状態が変わる可能性があります。）

※休館中は、電話でのお問合せにもお応えできかねますので、ご了承ください。

返却は、返却ポストでできます。CD・DVDなどは本と別の専用ポストへお返してください。なお、他の図書館から借用した資料や、大型絵本・大型紙芝居は返却ポストに入れしないでください。

Q.「蔵書点検」とは、何をするのでしょうか？

A. 館内にある資料（本、CD等含む）を、すべて一冊ずつバーコードリーダーで読み取り、点検します。

この作業により、所在不明の資料数などが明らかになり、蔵書数を確定できるとともに、蔵書検索結果が確実なものになります。残念なことに毎回、所在不明の資料があります。利用者の皆さんにご不便をかけないよう、信頼できる蔵書のデータベースを作るために必要な作業です。また同時に、館内レイアウトの変更なども行います。より使いやすく利用しやすい環境を整えるための作業期間です。ご理解とご協力をお願いします。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

横山 秀夫

（よこやま ひでお 1957年東京都生まれ）

上毛新聞社記者を経てフリーライターに。『影の季節』（文芸春秋）で松本清張賞受賞。最近では『64（ロクヨン）』（文芸春秋）が映画化されました。

私がお薦めする本は『動機』（文芸春秋）です。主人公は県警本部警務課企画調査官。

ある日、警察署内で一括保管してあった30人分の警察手帳が盗まれるという事件が起きました。手帳の紛失を根絶するために、彼が起案した方策がかつてない大量盗難事件を招いてしまったのです。施錠のしである保管庫からの盗難。次第に強まる内部犯行説。犯人は誰なのか？そしてその動機は？2000年に日本推理作家賞・短編部門を受賞した作品です。

犯人にたどりつくまでの緊迫したストーリー展開と、その動機が明らかになる課程における人物への描写など、これぞ横山ワールドと言えるでしょう。横山秀夫の著作の多くは映像化されていますが、独自の世界観をぜひ本でご堪能いただければと思います。

（本館 饒村）

アーナルデュル・インドリダソン

（1961年アイスランド生まれ）

映画評論家等を経て、作家に。『湿地』『緑衣の女』（どちらも東京創元社）で2年連続してガラスの鍵賞を受賞、『緑衣の女』は英国CWAゴールドダガー賞も受賞。

作者アーナルデュルはアイスランド人。ここ数年、出す作品すべてが欧米で大ヒット、今回ご紹介する『湿地』（柳沢由実子／訳）は日本語訳1作目です。

一人暮らしの老人の死体が発見されます。一見計画性のない殺人。だが、現場に残っていた3文字のメッセージ、捜査によってわかった被害者の隠された唾棄すべき邪悪な過去。最新の科学捜査もどんでん返しありませんが、次第に明らかになっていく被害者・加害者の関係に目が離せません。主人公の捜査官と娘との不器用な親子関係にも注目です。お互い傷つけあってしまうのには、それぞれに辛い過去があるから。そして、アイスランド独自の風習・慣習にも驚かされます。英米の小説とは一味違うミステリーをお楽しみください。

（帷子分館 瀬尾）

分類	書名	著者名	出版者名
歴史・伝記・地理			
234.0/ロ/	ヒトラーの娘たち ナチズムが生んだ一般のドイツ女性たちは、“血塗られた地”で熱意あふれる事務職員であり、掠奪者であり、拷問者であり、殺人者であった。レイシズム、国家主義のさいはてに待つ、知られざる歴史の闇に迫る。	ウェンディ・ローワー／著	明石書店
289.1/オ/	人間の旬 たゆみなく歩いていけば、いくつになっても「旬の季節」がめぐってくる。日本を代表する化学者・大村智が、ノーベル賞授賞式の模様や受賞前後の話、家族、ふるさと、旅、次世代を担う若者への思いなどを綴る。	大村智／著	毎日新聞出版
289.1/ヤ/	命の尊さについてぼくが思うこと 「24時間テレビ」に出演し、大きな反響を呼んだ、重い心臓の障害を抱える中学生・山田倫太郎の自伝的エッセイ。生い立ちからこれまでの人生を辿りながら、アニメや本、いじめ、手術などを通して気づいたメッセージを伝える。	山田倫太郎／著	KADOKAWA
289.3/エ/	ジハーディ・ジョンの生涯 クウェート難民としてロンドンで育ち、大学でITを学んだ礼儀正しい青年は、なぜ後藤健二さんを殺害したイスラム国の処刑人になったのか。彼にインタビューした唯一のジャーナリストによる評伝。	ロバート・バーカイク／著	文藝春秋
291.0/ト/	城下町・門前町・宿場町がわかる本 「歴史的町並み」の“昔”と“今”のつながりが見えてくる！ 絵図や古写真等、多彩な史料を用いながら、城下町・門前町・宿場町の成り立ちから現在に至るまでの過程を解説。古地図の読み方、地域情報の集め方なども紹介。	外川淳／著	日本実業出版社
社会			
304/テ/	転換期を生きるきみたちへ 世の中の枠組みが変化し、既存の考え方が通用しない歴史の転換期に、中高生に「これだけは伝えたい」という知見を集めたアンソロジー。言葉の力、憲法、愛国心…。若者たちにこれからの時代を生きるための知恵と技術を伝える。	内田樹／編	晶文社
367.3/ハ/	働くママと子どもの〈ほどよい距離〉のとり方 子どものなかには自分から育てゆく力があり、それを信じて子育てをすればよい。三歳児神話や母乳主義など数々の呪縛をぬぐい去り、ママが働いているからこそとれる、親子の「ほどよい距離」を成長別に提案する。	榊原洋一／監修	柘植書房新社
374.6/オ/	PTA がやっぱりコワイ人のための本 PTA は問題点もたくさんあるけれど、じつはいいところもいろいろある。いいところと悪いところ、両面を掘り下げ、これから PTA がどうすべきかを考える。	大塚玲子／著	太郎次郎社エディタス
386.8/ソ/	郡上踊りと白鳥踊り 岐阜県郡上市の八幡町と白鳥町では、盆の期間に徹夜の盆踊りがそれぞれ盛大に行われる。八幡町の「郡上踊り」と白鳥町の「白鳥踊り」の歴史や諸相、今日の様子などを紹介する。	曾我孝司／著	雄山閣
自然科学・医学			
448.9/タ/	地図がわかれば社会がわかる 地図は社会を映す鏡。地図の歴史や社会との関わりから、基本の地形図やデジタル地図の最新事情、外国の地図や地図記号の話まで、進化する地図の世界と活用法を楽しく解説する。	田代博／著	新日本出版社
480.7/マ/	その道のプロに聞くふつうじゃない生きものの飼いかた スーパーで買ったアサリ、宅配便で届いたイセエビ、通販で買えるクリオネ、道で踏みそうになったダンゴムシ…。さまざまな場面で出会う生きものたちの飼いかたを、その道のプロが伝授する。	松橋利光／著	大和書房
493.1/ホ/	うつかな?と思ったら男性更年期を疑いなさい 40代からの日本人男性に多く見られる、男性ホルモン「テストステロン」の急激な減少が、深刻な精神症状と身体症状をもたらす。テストステロン値の低下への正しい対処法を、メンズヘルスの第一人者が実例をもとに紹介する。	堀江重郎／著	東洋経済新報社

493.7/オ/	あなたの脳は一生あきらめない!	奥村歩/著	永岡書店
	認知症は自力で食い止められる! 3万人以上を診てきた「もの忘れ外来」の名医が、「ボケない力」をつけるための知識と具体的なノウハウを、さまざまな角度から紹介する。		
産業			
611.7/カ/	定年就農	神山安雄/編著	素朴社
	50代・60代の人たちが農業にたずさわりながら、第二の人生を送るためのガイドブック兼、就農のための事例集。農家民宿・レストランの経営など、20組の多彩な実例を紹介する。		
芸術・スポーツ			
746/イ/	イチからわかる本格写真プリント		学研プラス
	“色”の悩みも“紙”の悩みもこの1冊ですべて解決! プリント設定のルールから微調整の方法、最低限知っておくべきプリント知識、プリントのためのデータづくり、写真用紙の攻略法まで、わかりやすく解説する。		
751.5/ウ/	美しい和のガラス	齊藤晴子/[編]著	誠文堂新光社
	明治から昭和初期にかけて、日本国内で生産されたガラス製品。西洋のガラスをお手本に職人が工夫を重ね、日本人の生活や感覚になじむ製品が数多く作られた。和のガラスの器や雑貨などをオールカラーの美しい写真とともに紹介。		
764.6/ウ/	ブラバン甲子園大研究	梅津有希子/著	文藝春秋
	甲子園のアルプススタンドで日本一熱い夏を闘う吹奏楽部員たち。高校野球のブラバン応援はいつ始まった? 応援の基本ルールとは? ブラバン甲子園の謎を大解剖。有名校オリジナル応援秘話、有名校ブラバン顧問対談等も収録。		
文学—作家論			
910.2/ア/	強父論	阿川佐和子/著	文藝春秋
	94歳で大往生。瞬間湯沸器だった父、阿川弘之に罵倒されること何千回。理屈より感情が先立ち、男尊女卑でわがままで、妻や子供には絶対服従を求める…。故人をまったく讃えない「父と娘」の記録。		
910.2/イ/	いつもおまえが傍にいた	今井絵美子/著	祥伝社
	めげてなんかいられない。余命がわかっただけでもありがたい。愛猫キャシーとともに、やりたいことをやれるだけやって、最後は「アバヨ!」と逝くつもり。抗癌剤治療を拒否し、執筆に余命を懸ける作家の「これが私の生きる道」。		
日本文学—小説			
913.6/アサ/	風を繻(ぬ)う	あさのあつこ/著	実業之日本社
	江戸・深川の縫箔(刺繻)屋・丸仙の娘・おちえと、「弟子入りしたい」と丸仙を訪れた美しい若侍・吉澤一居。ふたりの人生が交差したとき、江戸を震撼させる娘惨殺事件が起こり…。		
913.6/アリ/	アンマーとぼくら	有川浩/著	講談社
	休暇で沖縄に帰ってきたリョウは、親孝行のため「おかあさん」と島内を観光する。一人目の「お母さん」はリョウが子供の頃に亡くなり、再婚した父も逝ってしまった。観光を続けるうち、リョウは何かがおかしいことに気がつく。		
913.6/アヤ/	深泥丘奇談 続々	綾辻行人/著	KADOKAWA
	“もう一つの、ありうべからざる京都”に住む作家が遭遇する、奇天烈な怪異の数々。当惑と恐怖、驚愕と忘却の繰り返しのうちに月日は流れ…ついに“世界”は目眩く終焉を迎える! ? 全9編を収録した破格の怪談絵巻、完結編。		
913.6/イシ/	西一番街ブラックバイト	石田衣良/著	文藝春秋
	黒く塗りつぶされるな。おまえはダメ人間なんかじゃない! 過酷な労働を強いられ、辞めることもできない。若者を使い潰すブラック経営者に、Gボーイズが怒りの声をあげる!		
913.6/イト/	歌姫メイの秘密	伊藤たかみ/著	講談社
	小4のときに、母親と一緒にN 神聖教会のキャンプから逃げてきたメイ。かわいいのに風変りで、歌が抜群にうまいメイは、自分の本当の父親を探していて…。峻烈なラブ・ストーリー。		
913.6/オギ/	海の見える理髪店	荻原浩/著	集英社
	ある想いを胸に秘め、古い理髪店を訪ねた「僕」と店主が交わす特別な時間。急逝した娘に代わり成人式に替え玉出席すべく奮闘する夫婦…。永遠のようで儂い家族の日々を描く6編の物語。第155回直木賞受賞作。		

913.6/ツジ/	東京會館とわたし 上・下	辻村深月／著	毎日新聞出版
	大正 11 年、丸の内に落成した国際社交場・東京會館。海外ヴァイオリニストのコンサート、灯火管制下の結婚式、未知のカクテルを編み出すバーテンダー…。“會館の人々”が織り成すドラマ。		
913.6/ハタ/	おおあたり	畠中恵／著	新潮社
	美味しいお菓子を作れたのに、婚約が窮地に！？病弱若旦那は親友を救えるの？兄や達の心配っぷりも絶好調な、「しゃばけ」シリーズ第 15 弾。		
913.6/ハム/	津軽双花	葉室麟／著	講談社
	徳川家康の姪・満天姫、石田三成の娘・辰姫。津軽家に嫁した 2 人は、再びの因縁に相見える…。乱世の終焉を辿る「大坂の陣」「関ヶ原の戦い」「本能寺の変」を描いた短編も収録。		
913.6/ムラ/	コンビニ人間	村田沙耶香／著	文藝春秋
	36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。第 155 回芥川賞受賞作。		
913.6/ムラ/	ラヴィアンローズ	村山由佳／著	集英社
	幸せなのだと思っていた。あの日、年下の男と出会うまでは。二度とないと思っていた恋、諦めていた自由。咲季子は夫が作り上げた透明な檻から羽ばたこうともがくが…。長篇サスペンス。		
913.6/ユズ/	あしたの君へ	柚月裕子／著	文藝春秋
	見習いの家裁調査官補は、先輩から、親しみをこめて「カンポちゃん」と呼ばれる。「カンポちゃん」の望月大地は、心を開かない相談者たちを相手に、真実に辿り着くことができるのか。全 5 話。		

外国文学

933.7/タ/	ゴールドフィンチ 1・2・3	ドナ・タート／著	河出書房新社
	美術館爆破テロで母を亡くした少年・テオは、その時美術館から 1 枚の小さな鳥の名画を持ち去った。孤児となったテオは、そのオランダ黄金時代の小さな名画とともに、波瀾万丈の運命を辿ってゆき…。		
933.7/ジ/	人生の真実	グレアム・ジョイス／[著]	東京創元社
	千里眼を持つ女家長マーサの決断で、赤ん坊はヴァイン家の 8 人の女たちに育てられることに。フランクと名づけられた男の子は風変わりな一族の中で大きくなってゆき…。英国幻想小説の巨匠による、生と死を見つめる家族の物語。		

展 示 の ご 案 内

■ 8 / 27 (土) ~ 9 / 25 (日) ■

命を守る図書展~3万分の1の命と向き合う~ (本館1階)

日本では自殺によって多くの尊い命が失われています。自殺の多くは防ぐことができる社会的な問題です。この自殺の問題に対して、私たちひとりひとりができることは何でしょうか。自殺予防、うつ病、命の大切さに関するパネルや図書を展示します。

(可児市役所福祉課)

■ 10 / 1 (土) ~ 10 / 12 (水) ■

岐阜が世界に誇る「遺産」展 (本館1階)

岐阜県は、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んできました。その中で、岐阜が世界に誇る遺産や遺産候補が 8 つあります。世界に誇る岐阜県の魅力を知り、各地に足を運んでみませんか。

予告

リユース事業を開催します！

図書館で除籍した本を展示します。一人 10 冊まで持ち帰ることができます。

10月29日(土)、30日(日) 本館3階 午前10時15分から午後4時まで

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 9月 5,12,19,26~30日
(26~30日は蔵書点検のため)

携帯用
サイト



「図書館だより」2016年9月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川（本館） 電話（0574）62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。